

彗星課月報

Monthly Report of the Comet Section, September, 2010

課長：佐藤 裕久 *H. Sato*

幹事：村岡 健治 *K. Muraoka*

幹事：下元 繁男 *S. Shimomoto*

○9月の状況 (佐藤)

☆ 103P/Hartley (写真 a)

9月3日 1:04、宮城県栗原市の高橋俊幸氏から彗星課メーリングリスト (以下 oaa-comet ML という。) に9月1日の観測について「…103P(ハートレー)の光度は足踏み状態のようです。何時明るくなるのでしょうか。…」とのコメントがあった。

4日 17:21、横浜市の吉田誠一氏から oaa-comet ML に送られた Magnitude of Recent Comets の中で、103P の光度について「…CCD 観測では暗めなのですが、眼視では順調に、急激に増光しています…」とのコメントがあった。

6日 22:19、宮城県大崎市の遊佐徹氏から oaa-comet ML に9月5日 UT の観測から「…103P は日増しに明るくなり、しっかりとした中央集光、そして尾が写ります。コマの中に恒星が入っていて除去処理していませんが、思い切ってアパーチャーを 2.5' に広げると、光度の値は 12 等台と出ます。1ヶ月前は 14 台中盤でした。p. a. 200° の方向に 3' 程度の尾も広がっています。10 月に向けて楽しみになってきました」と報告されており、着実に明るくなってきたようだ。

8日 2:28、高橋俊幸氏からも oaa-comet ML に4-5日 UT の観測から「103P(Hartley)は、順調に明るくなっているようで、今後が楽しみ

です」とのコメントと位置観測報告があった。

更に、9日 UT の観測報告では、同じく「…コマの輝き増しています。明るくなってきました」とコメントしている。

眼視観測では14日 12:25、関勉 OAA 会長から oaa-comet ML に「皆さん久しぶりです。コッメとハンターの間です。このところの異常な暑さもやや峠を越した感じですが、なおご自愛くださるように御願います。さて問題の103P ハートレーの明るさですが、今までFの暗い70cmばかりで撮って、なかなか14~15等より明るくなって来ない、と思っていたのですが、今朝、初めて70cmの主鏡で覗いてびっくりしました。暗い鏡では写らなかったコマが大きく爛々と輝いているのです！」と70-cm反射による眼視観測を報告され、続けて「こうした大きく拡散した天体の目測には誤差が伴いますが、暗いFの写真で見えないと思っていた星が、実は着々と増光していたのでした。しかし最初の予報と比べると、まだまだ暗いと思います。これからの光度変化に注目しましょう。…」とのコメントがあった。

筆者から10月1日 2:47、oaa-comet ML に「…自宅で見ました。その後の観測と併せて報告しようと思いましたが観測に恵まれません。13日の深夜に自宅で見えています。透明度が悪くコマも中心部が見えるだけで空の悪さがかなり影響します。15日午前1時過ぎにはコマ

が大きくなって見やすくなりました」とのコメントを添えて報告した。

先月からやや増光が鈍っているように思えたが、その後徐々に明るくなっていく様子が伺えてきた。今後が楽しみである。

☆ C/2010 G2 (Hill)

9月1日 5:27 (8月31日 20:27 UT)、海外の彗星観測者メーリングリスト comets-ml にドイツ Maidbronn の Bernhard Haeusler (MPC Code B82) から C/2010 G2 (Hill) in outburst の件名をつけた「この彗星はたった今予想より2等明るい」との通報があった。

1日 19:49、oaa-comet ML に東京都大田区の佐藤英貴氏から「下弦の月となったので、夕空の彗星をリモート観測しました。C/2010 G2 は海外の ML にてアウトバーストの疑いと報告されていたものですが、ほぼ恒星状の集光強い姿です。…」とのコメントと全光度 16.3 等に増光したこの彗星の位置観測報告があった。

同日 22:58、遊佐徹氏から oaa-comet ML に「佐藤英貴さんがレポートされていた C/2010 G2 (Hill) のアウトバーストですが、私も大崎の 30-cm f/12 で追観測しました。MPEC ではここ最近では 18 等台 (N) の報告が並んでいましたので、明らかな増光ですね」とのコメントと位置観測の報告があった。核光度 16.5-16.6 等と観測している。

4日、吉田誠一氏から送られた Magnitude of Recent Comets の中で、C/2010 G2 について「…すでに報告されています通り、2等ほどの小バーストを起こしました。最盛期はまだ当分先ですが、遠距離でも意外におもしろい変化をしますね。ところで、グラフを見ると、これまでもちよっと明るく報告していた人がいるため、プ

ロットしたデータだけだと、明らかなバーストのようなグラフには見えません。やはり、画像を見ている観測者の方が、形状などからバーストだと判断し、コメントをして頂けるのは、ありがたいですね」とのコメントがあった。

○9月に発見された彗星

☆ C/2010 R1 (LINEAR) 9月4.15日 UT、LINEAR プロジェクトによって 20.5 等の小惑星状の天体が発見された。小惑星センターの“NEOCP”に掲載後、W. H. Ryan と E. V. Ryan (Magdalena Ridge 天文台, 2.4-m f/8.9 反射望遠鏡) の観測による R バンド CCD イメージから尾がある彗星であることがわかった (IAUC 9166, 2010 Sept. 6)。

☆ P/2010 R2 (La Sagra) 9月14.9日 UT、スペイン La Sagra 天文台 (0.45-m f/2.8 反射) で移動天体が発見された。16日には、拡散した構造が確認され、p. a. 185° に約 8” コマが伸びていた。“NEOCP”に掲載後、P. Birtwhistle (Great Shefford, Berkshire, 英国, 0.40-m f/6.0 Schmidt-Cassegrain) から CCD 位置観測者たちにより彗星状と観測された (CBET 2459, 2010 Sept. 17, IAUC 9169, 2010 Sept. 20)。

☆ C/2010 S1 (LINEAR) 9月21.36日 UT、LINEAR サーベイによって 18.4 等の小惑星状の天体が発見され、“NEOCP”に発表後、D. Mayes (Table Mountain 天文台, 0.61-m f/16 Cassegrain 反射望遠鏡) から CCD 位置観測者たちによって彗星状であることがわかった (IAUC 9170, 2010 Sept. 24)。

その他明るい彗星は、10P/Tempel (写真 b)、C/2007 Q3 (Siding Spring) 等であった。

● 眼視等観測報告

C/2009 K5 (McNaught)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	10.76	11.8	2.3'	2	-	-	4/5	4/5	EOSX3*	張替憲	90 秒露出
	18.81	12.7	2.9	2	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	270 秒露出

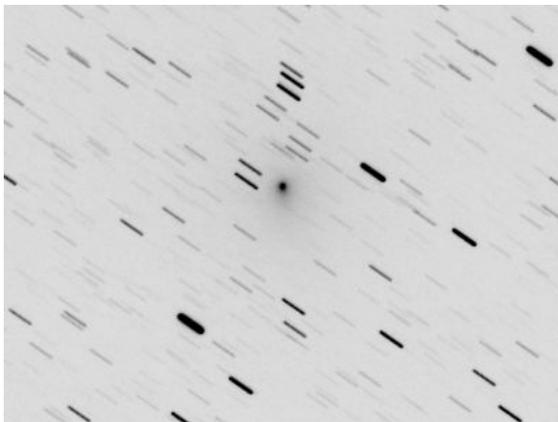
10P/Tempel (写真 b)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	10.65	8.5	5.2'	6	-	-	4/5	4/5	EOSX3*	張替憲	250 秒露出
	10.80	10.1	3.5	3/	-	-	4/5	-	42×20-cmL	永島和郎	
	18.67	8.6	5.6	6	-	-	3/5	4/5	EOSX3*	張替憲	210 秒露出
	18.80	11.2	2.2	3	-	-	4/5	-	79×30-cmL	永島和郎	

103P/Hartley (写真 a)

2010	UT	m1	Dia	DC	Tail	p. a.	Trans.	Seeing	Instru.	Observer	Note
Sept.	10.66	11.0	2.7'	5	-	-	4/5	4/5	EOSX2*	張替憲	250 秒露出
	10.76	10.4	3.3	3	-	-	4/5	-	42×20-cmL	永島和郎	
	13.70	8.5	10	7	-	-	4/5	4/5	98×70-cmL	関勉	
	14.68	9.9	4.7	3/	-	-	3/5	3/5	66×25-cmL	佐藤裕久	
	18.67	10.8	1.9	6	-	-	3/5	4/5	EOSX2*	張替憲	210 秒露出
	18.74	9.3	2.7	3/	-	-	4/5	-	42×20-cmL	永島和郎	

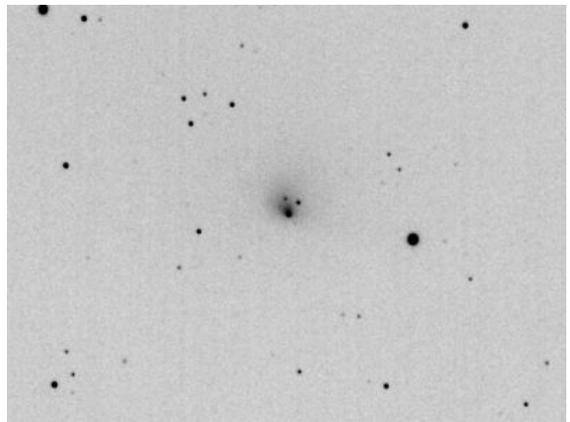
* 200-mm f/2.8 lens



(写真 a) 103P/Hartley 2010, 09, 25

21h45.0m-22h05.5m (JST) exp. 60s×14 TOA130+CCD

三重県伊賀市上野 田中利彦氏



(写真 b) 10P/Tempel 2010, 09, 10

1h00.0m-10.0m (JST) exp. 60s×7 TOA130+CCD

三重県伊賀市上野 田中利彦氏